

科目「ビジネス基礎」学習指導案

学 校 名	茨城県立明野高等学校	指 導 者	教諭 ○○ ○○
指 導 日 時	平成 29 年 9 月 6 日 (水) 第 3 限	場 所	1 年 1 組 教 室
対 象 生 徒	普通 科 1 年 1 組	コ ー ス	4 0 人
科 目 名	ビジネス基礎	使 用 教 科 書	ビジネス基礎 新訂版 実教 出版

1 単元（題材）名

第6章 売買に関する計算 仕入れ原価と売価

2 単元（題材）の目標

- ・仕入原価や仕入れ諸掛の意味を理解し、利益を出すための売価の設定のしくみを理解させる。
- ・実際の身近な商品の値段を、消費者の目線から販売者の目線で捉え、実社会で活用する。

3 単元（題材）について

(1) 教材観

ビジネス基礎におけるビジネス計算を学習するために、電卓の基礎や割合について学んできた。企業において大事なことである利益を出すことについて理解させる。実社会の取引を参考に、実社会で通用する能力を身に付けさせる。

(2) 生徒観

活動的な生徒が多く、クラス内の人間関係も良好のように感じる。授業に対して、やや意欲的ではないが、身近な出来事や身の回りのものには強い興味をもっているようだ。発問に対して、積極的な反応が期待できる生徒が多い。

(3) 指導観

本校は普通高校であり、商業についての学びに対して意欲のある生徒は少ない。資格取得を目標にこれまで5か月間学習してきたが、満足する結果は得られていない。本校は、卒業後就職する生徒が多いため、商業に関する学びが実社会で必要であることを強調し、学習意欲の向上を促す。また、これまでの指導経過を踏まえて、前時授業と関連付けて学習をさせ、理解度の確認や知識の定着を深めるためのワークでのまとめ学習が効果的であるため、積極的に実施する。

4 単元（題材）評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
①物の値段の他に、購入するためにお金がかかることを知っている。 ②自分が実際に最近購入したものから、それに付随して何を買ったのかを考える。	①身近な商品を購入するにあたり、そのほかにもさまざまなお金がかかっていることがわかる。 ②身近な商品の売価における利益率を考え、身近な商品が何故この値段で売っているのか。またこの値段でどれくらいの利益が出るかわかる。	①仕入原価の計算から、売価と利益の計算ができる。 ②値入れについて理解し、見込利益率から予定売価の計算ができる。	①仕入諸掛、仕入原価という言葉とその意味を理解している。 ②値入、利益率について理解している。

5 指導と評価の計画 (学習計画)

時	主な学習活動	指導及び留意点	関	思	技	知
1	割合	割引・割り増しについて理解させ、基本的な割合の計算を理解させる。	○	○		○
1	商品の数量と代価	慣習的な取引単位 (建) について理解させ、その計算をできるようにする。		○	○	○
1	仕入原価と売価 (販売価格)	仕入原価の計算から予定販売価格との関連を理解させる。	○		○	○

6 本時の学習

(1) 本時の目標

<ul style="list-style-type: none"> ・仕入原価, 仕入諸掛の意味を理解し, 計算ができる。 ・身近な商品の値段の由来がわかる。
--

(2) 準備・資料等 (学習に必要なワークシート, 教育機器, 資料等を記入)

教科書 (実教出版) ワークシート (手作り) タイマー

(3) 本時の展開 (導入・展開・終末)

時間	学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の用意を机の上に置き, 携帯電話を鞆の中に入れさせる。服装を整える。 ・出席の確認。 ・最近買ったものを答える。 ・一つの商品を買うために付随する費用があることを理解する。 ・黒板の板書を図に書き込む。 ・例題1がいくらかかったかを答え, 記入する。 ・ワークシートの () の穴埋めをする。 ・仕入諸掛, 仕入原価について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・号令の際は必ず生徒の顔を確認し, 健康状態や心理状態の観察及び身だしなみを確認する。 ・発問 (最近買ったものを教えてください。) 発問の答えに対して, リアクションをし, 生徒を授業に意欲的に取り組ませるようにする。 ・ワークシートの配布。 ・ワークシートの例題1を参考に図を板書する。 ・発問 (このボールペンを買うために全部でどれくらいのお金がかかってしまったでしょう?) ・解答させ, 例題1の答えを板書する。 解答を記入する際, 金額の前に¥マークを記入させることや, 数字をわかりやすく書くように注意する。 ・仕入れ原価の仕組みについて理解させる。
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの例題2・3・4を3分間で解く。 ・隣の人とワークシートを交換採点する。 ・間違っただ箇所を指摘し合う。 ・裏面の練習問題を解く。 ・隣の人とワークシートを交換採点する。 ・名前の記入漏れがないか確認し, ワークシートを提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例題3・4は以前学習した建値の計算の復習も兼ねているため, 式を必ず書くよう指示する。 ・¥マーク抜けや, 字が読めない場合は不正解にするように注意する。また, 式を書いていない生徒についても式を書くようにと注意する。 ・机間巡視をし, つまづいている生徒にはフォローを入れる。 ・採点后, 間違っただ箇所の振り返りをさせ, 練習問題を12分で解くよう指示する。 ・机間巡視をし, つまづいている生徒にはフォローを入れる。 ・例題と同様に正確に採点するように指示を出す。 ・採点が終わり, 確認させる。 ・ワークシートを回収させる。
終末 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の内容のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕入原価について再度確認する。実社会のものの値段すべてに諸掛が含まれていることを理解させる。